

◎注意事項をよくお読み下さい



リソな 経済フラッシュ

(日本5月景気ウォッチャー調査)

2019/6/10

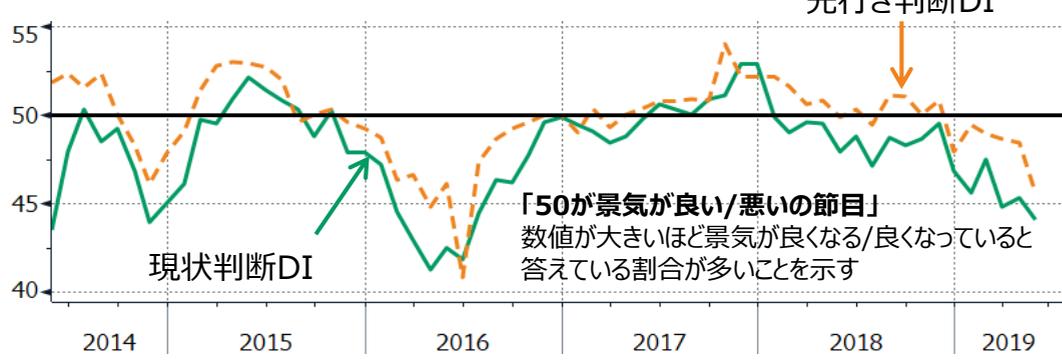
リソなホールディングス 市場企画部

〇概況

- ◆ 5月景気ウォッチャー調査、現状の基調判断は据え置かれた
- ◆ 現状判断DI、先行き判断DIはともに低下
- ◆ 現状は10連休の反動による悪影響のコメントがみられ、先行きは米中摩擦など海外情勢の悪影響や消費増税が意識されたコメントが目立つ

- ✓ 景気の現状に対する判断DIは前月から1.2ポイント低下の44.1と2か月ぶりに低下した。家計、企業、雇用関連DIともに低下した。
- ✓ 2～3か月先の景気の先行きに対する判断DIは45.6と前月から低下し、6か月連続の50割れとなった。
- ✓ 5月の景気ウォッチャーの見方は、「このところ回復に弱さがみられる。先行きについては、海外情勢等に対する懸念がみられる。」とまとめられた。
- ✓ 現状では、「10連休期間中は例年の110%ほどの集客があったが、7日以降は散々な集客となり、5月のトータルでは例年より若干の集客減となる。」（北陸＝高級レストラン）や「業界が米中貿易戦争の影響を少なからず受けているのではないかと思われる。」（南関東＝電気機械器具製造業）などのコメントがみられた。先行きについては「米中間の関税問題で、中国向けの出荷が減少傾向となる製品が多く、先行きが不安である」（近畿＝金属製品製造業）や「本格的に消費税増税を意識した買い物が出てくる。全体的には慎重になり、節約や儉約志向が強まる」（近畿＝百貨店）などのコメントがみられた。

【景気ウォッチャー調査の推移】



【景気の現状判断DI(季節調整済)】

	2019年						前月差
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
合計	46.8	45.6	47.5	44.8	45.3	44.1	▲1.2
家計動向関連	46.6	44.6	47.1	44.2	44.7	44.1	▲0.6
小売関連	45.3	42.5	45.8	43.5	43.6	43.4	▲0.2
飲食関連	47.2	44.2	45.2	42.4	42.3	40.7	▲1.6
サービス関連	48.6	48.5	49.9	45.6	47.5	47.2	▲0.3
住宅関連	49.2	47.3	49.3	46.7	44.7	41.3	▲3.4
企業動向関連	46.1	46.6	46.9	44.9	46.0	43.5	▲2.5
製造業	45.7	43.4	44.8	41.9	44.9	42.9	▲2.0
非製造業	46.8	49.4	48.8	47.2	47.2	44.5	▲2.7
雇用関連	48.8	49.9	50.7	48.4	47.8	44.9	▲2.9

【景気の先行き判断DI(季節調整済)】

	2019年						前月差
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
合計	47.9	49.4	48.9	48.6	48.4	45.6	▲2.8
家計動向関連	48.0	50.0	48.5	48.6	48.8	46.1	▲2.7
小売関連	47.9	49.6	47.4	48.8	49.7	46.8	▲2.9
飲食関連	44.4	49.7	46.3	44.7	47.5	45.0	▲2.5
サービス関連	49.1	51.0	51.4	50.3	48.5	45.9	▲2.6
住宅関連	48.2	48.9	47.5	43.7	43.5	42.0	▲1.5
企業動向関連	46.3	46.8	48.7	47.7	47.3	44.0	▲3.3
製造業	44.2	45.2	49.9	47.8	46.7	42.6	▲4.1
非製造業	47.8	48.0	48.1	47.7	47.9	45.1	▲2.8
雇用関連	49.8	51.3	52.3	49.9	47.4	45.7	▲1.7

【出所】内閣府、IN情報センター

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。